

第1章

東広島市の環境活動事例紹介

《組織の概要》

わたしたち「エコネットひがしひろしま」は、市民・事業者・団体と市が連携・協力して、環境問題の改善に取り組み、持続可能な社会の実現を目指したまちづくりを推進することを目的として、平成22年7月16日に設立しました。

【R1.6.8 環境フェアでの活動】



ソーラークッキング



モバイルミュージアム

《これまでの歩み》

平成22年7月16日に設立後、平成23年度に策定された東広島市環境基本計画において、市民・事業者の取り組みの推進や評価を行う組織として位置づけられています。

これまで、エコクッキングの開催や、ひがしひろしま環境フェアなど各種のイベントへの出展など、地球温暖化対策にとどまらず幅広い活動を行っています。

《今後の展望・キーワード》

2019年12月現在、個人会員37、事業者会員23、団体会員19の計79の会員で構成されていますが、市内にはまだまだ環境において活躍されている個人、団体、事業者の方がおられます。これからも、会員数を増やしてより幅広い環境のネットワーク組織づくりをしていきたいと思っています。

環境活動をされている個人、団体、事業者の方は、ぜひエコネットひがしひろしまに会員登録してください。

《2019年の活動ポイント》

令和元年12月15日（日）に八本松地域センターにて、「脱温暖化キャラバン！N八本松 ～地球温暖化防止月間に学び・考え・行動する～」(共催：八本松住民自治協議会 環境対策委員会・東広島市・東広島市市民協働センター)を開催しました。

会場では、竹ひご細工でスモア作り、木の実クラフト体験、薪ストーブとピザ窯の展示、モバイルミュージアム（珍しい昆虫標本展示）を行い、多くの参加者でにぎわいました。講演会では、気象予報士・防災士の波田健一さんによる「異常気象最前線！」で、地球温暖化防止に関する最新の情報を学びました。



ピザ窯体験



木の実クラフト体験



講演会の様子



楽しく学ぶエコクイズ



環境活動の展示

《連絡先など》

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号

東広島市役所生活環境部環境対策課内

TEL 082-420-0928（環境対策課）

URL <https://hgh-eco.net/>



《組織の概要》

「エコINNくろせ」は、平成 18 年 3 月に東広島市で最初の地球温暖化対策地域協議会として設立。

環境にやさしい行動や思いが黒瀬町に宿り（INN）、次世代に良い環境を引き継ぐための活動を継続しています。

具体的には

- ①青少年育成を目的とした環境学習
- ②エコ農業、まちづくり活動
- ③地球温暖化防止呼びかけキャンペーン

等に取り組んでいます。



総会 & 講演会



エコクッキング講座



《これまでの歩み》

- ・ 農業体験学習（H18～）
- ・ エコクッキング講座（H18～）
- ・ 黒瀬町健康福祉祭りへの出展（H18～）
- ・ 自転車キャラバン隊行動ディ（H18～）
- ・ エコINNくろせ講演会（H18～）
- ・ 保光川ハウマッチ（H19～）
- ・ 東広島生涯学習フェス出展（H19～）
- ・ もみ殻クン炭作り（H21～）
- ・ 竹炭作り・竹炭アート作り（H23～）
- ・ エコキャップ・プルタブ回収（H26～）
- ・ 「エコINNくろせだより」配布（H26～）

《今後の展望・キーワード》

少しずつ改善を加えながら「継続」をモットーに、活動を継続していきます。

今期、新規推進員 2 名が加わりました。

新しいテーマ「食品ロス削減」を展開していきます。

《2019年の活動ポイント》

①環境学習・出前講座

- ・ 田植え体験 5月8日（28名）
- ・ エコクッキング 6月19日（26名）
- ・ 稲刈り体験 9月10日（17名）
- ・ 用水路見学 9月13日（14名）
- ・ エコクッキング（黒瀬高校） 1月18日（27名）

②もみ殻クン炭作り

- ・ もみ殻クン炭作り 9月～2月（8名）
- ・ 竹炭アート作り 10月27日（31名）

③講演会

- ・ 保光川ハウマッチ 3月31日（54名）
- ・ ミニ講演 7月27日（40名）



田植え体験



保光川ハウマッチ



ミニ講演会



稲刈り体験



用水路見学



竹炭アート作り

《連絡先など》

〒739-2622

広島県東広島市黒瀬町乃美尾573

TEL 090-2800-0687（事務局 小原）

メールアドレス ekoinnkurose@gmail.com



《組織の概要》

ひがしひろしま環境家族は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定される地球温暖化対策地域協議会として、日常生活における温室効果ガスの削減を目指し、親と子を中心に家庭での温暖化の抑制・防止する生活の推進を目的に誕生しました。

「子や孫の世代に持続可能な地球環境を残そう！」を目標に活動しています。



《これまでの歩み》

- ・ 市民版 CO₂ 排出量取引
- ・ 省エネ生活普及
- ・ グリーンカーテン講習会
- ・ 小学生向け省エネクッキング
- ・ 女性向け LOHAS セミナー
- ・ ハーブ&アロマで eco 講座
- ・ 自分に合わない食べ物を知る講座
- ・ マアルさんのお話会

自分や家族の健康的な生活を送るための講座を開催しました。その生活には地産池消・ゴミ・農薬・化学製品・物を大切にする暮らしがあるということで、最終的に地球環境を考えるという行動に発展するように啓発です。

・ 身近な里山の資源を見直す活動として、ウッドガラストーブやエコストーブを作成する講座を、広島県省エネ促進活動助成金を利用して開催しました。

《今後の展望・キーワード》

会員が楽しく活動することをモットーに、興味のあることや、話題のエコ情報、気候変動に対する動きなどを学ぶために活動しています。また市民に広く知ってもらうために講座を開催しています。

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんの登場により、若い世代も温暖化対策に関心を示す人も徐々に増える中で、長年温暖化対策の普及に務めてきた団体として、そのような人たちと手を組んで活動を広げたいと考えています。

《2019年の活動ポイント》

地球温暖化防止と言う壮大な課題に対して、市民団体としては身近なテーマを題材に本当の豊かな生活とは何かを考えてもらう講座を中心に活動してきました。長年 LOHAS セミナーとして講座を開催してきましたが、令和元年より、「エシカルラボ」（エシカル＝人や社会、地球環境、地域に配慮した考え方や行動のことをさす）として講座を開催しています。

第1回目として、今問題になっている海洋プラスチック問題を考えてもらうために、「エコラップづくり」と題して講座を開催しました。エコラップはプラスチックのラップに代わるものとしてオーストラリアで開発されたもので、洗って繰り返し使えるのが特徴です。日常生活で何気なく使っているプラスチックの使用を減らす第一歩として、楽しく「エコラップ」を作る作業を通して参加者に関心を持ってもらうことができました。



エコラップづくりの様子

《連絡先など》

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号

東広島市役所生活環境部環境対策課内

TEL 082-420-0928（環境対策課）

メールアドレス higashihiroshima5@gmail.com



《組織の概要》

広島大学・大学院の中で自然環境に関心を持っている学生で結成している団体である。川は色々な生きものの住み家であることから、川の生きものを代表して、“かっぱ”の“おうち”と名付けられました。

黒瀬川が、子供が安心して遊べるくらいキレイになればとの願いから、地域の方にもっと知ってもらい、好きになってもらうために、

- ・黒瀬川を歩こう（自然観察ハイク）
- ・黒瀬川流域ガイドブックの作成
- ・環境イベントへの出展

などの活動を地域の方と一緒に実施してきたいと考えています。



「地域の元気応援プロジェクト」
(2019) 三段峡ネイチャートレイル
プロジェクトへの参加の様子

《これまでの歩み》

- ・黒瀬川を歩こう（自然観察ハイク）
- ・黒瀬川流域ガイドブックの作成
- ・環境イベントへの出展

★「地域の元気応援プロジェクト」
(2019) 三段峡ネイチャートレイル
プロジェクトへの参加

《今後の展望・キーワード》

これまでと同じく、「地域みなさんに身近な自然に親しんでもらう」、「生きものの住み家を守る」ことを活動の軸に、学生ならではの形で地域の自然と住民をつなぐ様々な活動に取り組んでいきたいです。

2019年は、これまでの活動から幅を広げ、広島大学の「地域の元気応援プロジェクト」に参加した。今後は、三段峡でのプロジェクトの実現に向けて継続的かつ発展的に活動するとともに、東広島・黒瀬川においても地域の方と協働した活動を模索していきたいです。

《2019年の活動ポイント》

2019 年は安芸太田町三段峡を中心に活動を行いました。

広島大学の実施する「地域の元気応援プロジェクト」にかっぱのうちの活動母体である中坪研究室として参加した。

安芸太田町三段峡で活躍する特例認定 NPO 法人三段峡一太田川流域研究会（さんけん）と共同で、さんけんの掲げる三段峡を体験と学びの場とする「野外博物館構想」の下、広島県を訪れる外国人観光客を対象に三段峡の豊かな自然の魅力をつたえることを目的とした「三段峡ネイチャートレイルプロジェクト」を立ち上げた。

＜2019 年の主な活動＞

①パンフレット作成

散策の際の注意や三段峡に残る山水画的景観・自然が外国の方にも伝わるよう、表現に工夫をしたパンフレットを作成している。

②モニターツアー（2019 年 11 月 23 日（土） 参加者：留学生 6 名）

作成したパンフレットの実効性を評価するため、広島大学の留学生 6 名が実際にパンフレットを手に三段峡内を散策した。



NPO 法人さんけん理事長本宮炎さん(左)と
学生メンバー

安芸太田町にて（写真撮影：中野瑛登）

《連絡先など》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1（広島大学総合科学部）

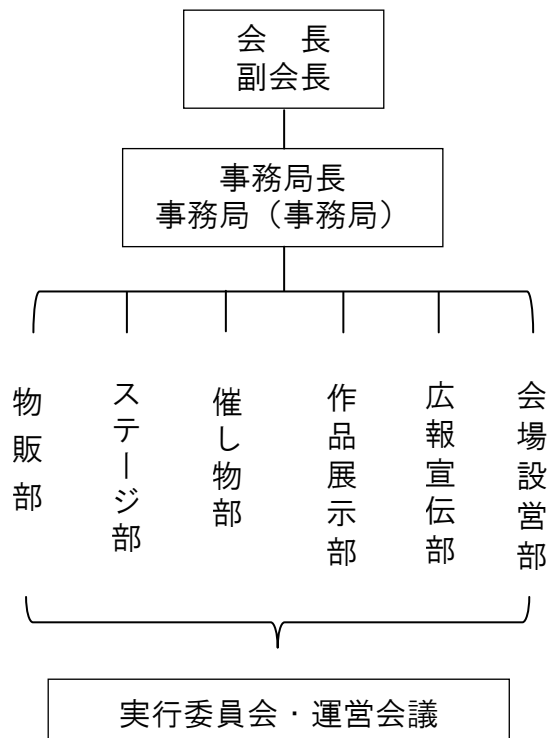
中坪研究室

TEL 082-424-6514

FAX 082-424-0758



《組織の概要》



第20回大会のチラシ（表・裏）

《これまでの歩み》

令和元年と第20回大会の節目が重なり、絶好の天気と相まって、3度目の観客2万人超えを記録しました。

【テーマ：水はいのち】

第20回アクアフエスタ in 福富
2019年10月5日（土）
・ 6日（日）

《今後の展望・キーワード》

実行委員会の若返りをはかり、次の節目、「第30回」に向け張り切っていきたい。

《2019年の活動ポイント》

2019年

4月 9日	運営会議（総合内容の検討と日程）
4月23日	アクアフェスタ in 福富 総会
5月 7日	運営会議（内容の具体化）
6月11日	〃（参加者募集・スタッフ依頼）
7月 9日	〃（協賛広告・寄付の準備等）
7月30日	〃（部会の内容決定・ポスター&瓦版の案）
（7月～9月）	部会別会議（各部会） 検討
（ 〃 ）	〃（〃） 説明会
8月27日	運営会議（会場レイアウト・役割分担・ポスター配布）
8月31日	広告・寄付まとめ（協賛広告・寄付の取りまとめ）
9月15日	瓦版発行（アクア瓦版 第44号 折込と配布）
9月16日	チラシ発行（アクアチラシ 全市折込と配布）
9月24日	運営会議（最終打ち合わせ）
10月2～4日	設営（会場設営作業期間）
10月5（土）・6日（日）	第20回記念イベント当日



一番人気
「あいがもレース」



世界の水の飲み比べ！
ウォーターバー



福富のお魚集合！
ちいさな水族館

《連絡先など》

〒739-2303

広島県東広島市福富町久芳3807-1

アクアフェスタ実行委員会 会長 森澤 薫

TEL 090-4654-3316（森澤）

URL 「アクアフェスタ 福富」で検索



《組織の概要》

「西条・山と水の環境機構」は、東広島やその周辺の文化や産業を育んできた水をいつまでも享受し、美しい故郷を次の世代へ手渡していくことを使命として、森林や小川、池、田畑など、山と水を取り巻く環境の保全・育成に寄与していくことを目的としています。

そのために、東広島市の企業や大学生、高校生、市民団体の方に参加を頂き、下草刈や除伐など、山の手入れ作業をはじめ、水質・水量調査などの調査研究活動、水質や森林保全の活動を支援・助成するなどの活動を行っています。



《これまでの歩み》

- 2000年11月 「山づくり、水づくり、酒づくり」シンポジウム＆森林ボランティア研究会を開催（第1回山のグラウンドワーク）
- 2001年5月 「西条・山と水の環境機構」発足
- 2002年6月 「第1回ひろしま山の日」県民の集いの開催支援／憩いの森公園・龍王山で開催
- 2003年9月 「広島県「平成17年度環の応援団助成」により炭焼窯制作開始
- 2004年10月 「八幡湿原自然再生協議会」に参加
- 2005年1月 除伐材のチップ化による堆肥づくり実験開始
- 2006年5月 「山と水の基金報奨事業」第1回表彰式
- 2007年6月 平成19年度「ひろしま環境賞」受賞
- 2008年8月 セブンイレブンみどりの基金」助成によりチップパーシュレッダー購入
- 2009年1月 東広島市森づくり事業補助金にて小型チップパーシュレッダーを導入
- 2010年5月 第13回マリンバイオテクノロジー学会市民公開シンポジウム（広島大学）で発表
- 2011年11月 平成23年度全国育樹活動コンクール団体の部「国土緑化推進機構理事長賞」受賞
- 2012年3月 木質ペレット製造機（ペレタイザー）購入：
セブンイレブンみどりの基金2012年度公募助成
- 2013年11月 「広島・京都文化フォーラム2013～川の流れ 水の恵み～」パネラー参加
- 2014年11月 西条の文化的な資産や景観を保全するための勉強会を開催
- 2015年12月 西条小学校4年生総合学習 龍王山フィールドワーク（グラウンドワーク＆登山）
- 2016年2月 環境省「地域の産業団体等と連携した自然再生の取組事例集」9地域の一つに選定
- 2017年8月 第10回雨水ネットワーク全国大会 in2017 広島
- 2018年2月 JA全農ひろしま・賀茂台地のお米「賀茂八十八発売記念式」で活動状況を報告

《2019年の活動ポイント》

『森づくりパネルディスカッション&ワークショップ in 河内』

2019年11月10日（日）に東広島市立河内中学校にて、森林整備などを行う「大道山竹炭工房」（2019年山水賞受賞）が主催する、森づくりに関するパネルディスカッションとワークショップが行われ、地元の小学生や中学生など150人の参加がありました。西条・山と水の環境機構から、パネリストとして中越委員長、コーディネーターとして薦田事務局長が参加しました。

ワークショップでは、ドローン操縦体験、篠笛づくり、竹パウダー堆肥づくり、チェーンソー安全講習が行われ、次の世代を担う中学生の積極的な参加に勇気づけられました。



『西条小学校4年生 総合学習の時間～山のグランドワーク&龍王山登山～』

2019年11月27日（水）8時50分に西条小学校4年生の183人が東広島憩いの森公園に集合しました。今回は、2グループに分かれ「森づくり体験」と「登山&山遊び体験」を交互に行いました。

「森づくり体験」では小径木の伐採や外来植物の抜き取りを行い、「登山&山遊び体験」では日曜山岳会会員のガイドで、水源である龍王山に登りました。

《今後の展望・キーワード》

龍王山に降った雨は、約50年をかけゆっくりと地下を流れ、南の酒造地帯へ酒を醸すのに良質の水を贈り届けます、そのさらに南側は、鉄分の多い水となり酒造には適さない地下水となります。酒蔵が集中する酒蔵通りは、酒造りに適したまさに「奇跡の水」が湧き出る地域でもあります。

龍王山の手入れをすることで、「奇跡の水」を守っていきます。

《連絡先など》

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6-51

TEL (082) 421-8032

FAX (082) 422-2668

URL <http://www.kamon.ne.jp/~yamamizu/>

メールアドレス yamamizu@kamon.ne.jp



《組織の概要》

えこ・ページは、「環境問題を中心とした身の回りの問題に対して身近なところから考え、解決・改善に向けて私たちなりに取り組む」ことを目標に掲げる、広島大学の環境系ボランティアサークルです。

今現在は、卒業生が残した家具・家電製品などを新入生に格安で販売する「リユース市」や毎年12月にサンタクロースのコスプレで市街を清掃する「サンタプロジェクト」が活動の柱となっています。



サンタプロジェクトのチラシ

《これまでの歩み》

一度サークルが無くなったものの、約20年近く続く歴史の深いサークルです。

はじめはサークル内だけでの活動が主立っていましたが、今となっては地域や他大学を巻き込んで活動ができるほど、サークルの活動範囲は広がっています。

ただ広げるだけでなく、学内の清掃やごみ分別の啓発活動と掲示板の整理など、あしもとをしっかりと見つめながら活動が続けていくことも大切にしています。

《今後の展望・キーワード》

#あしもとから始めるエコ

一緒に活動してくださる市の職員の方、市民の方、他大学の学生との「横」の関係性は安定しています。

このサークルの課題は「縦」の関係性で、まだまだやれることはあるな・・・と強く感じており、今までのやり方を続けていくことも大切ですが、もっと既存の価値観を壊して活動していく必要があると考えています。

《2019年の活動ポイント》

令和元年12月22日（日）に、半尾川再生まちづくり倶楽部、大和ハウス工業株式会社、JR 西条駅、近畿大学生と合同で、約50名で市街地を流れる半尾川を清掃しました。

川土手に生える草の刈り取り、ポイ捨てごみの回収、長靴を履いて河川内に入り、空き缶などを拾い集めました。

ごみを拾い続けても、ごみが無くなることはないのです。ただ清掃するだけではなく、そもそもごみを出さないような生活を啓発していければと思います。伝統のある活動なので、これからも継続して川清掃を行うことに加えて、活動の規模を大きくしていければと思います。



ひとむすび会場にブース出展



半尾川での清掃風景



大量のごみが回収出来た

《連絡先など》

エコ・ページ公式サイト

<http://eco-page.weebly.com/>

活動にご興味のある方は、公式サイト「お問合せ」フォームからご連絡ください。



《組織の概要》

広島大学が国立天文台から譲り受けた口径 1.5m かなた望遠鏡を運用する母体として 2004 年に発足。理学研究科高エネルギー宇宙グループと協力して、かなた望遠鏡による可視光・赤外線観測と、フェルミ衛星などの X 線・ガンマ線宇宙観測などを組み合わせて、宇宙における極限的な高エネルギー天体現象などの観測研究を推進しています。かなた望遠鏡がある東広島天文台周辺の良好な観測環境を維持するための取組みも実施しています。



東広島天文台と天の川

《これまでの歩み》

2012 年に中国地方で初めて、西条で「ライトダウン in 東広島」と銘打ち、全国的な伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンの一環として開催し 2019 年度で 8 回目となります。人工光をなるべく抑え、暗い夜空に親しみながら、エネルギーの効率的な消費について考えるきっかけとしてもらうことが目的です。2 回目から実行委員会を立ち上げて活動を本格化させました。実施日は、その年の旧暦の七夕（7 月下旬～8 月下旬）の直前の週末とすることが多いです。ライトダウンに合わせて開催する「星を見る会」は、東広島市立西条小学校ないし三ツ城小学校を会場としています。

《今後の展望・キーワード》

今後も「ライトダウン in 東広島」を毎夏に行い、ムダの少ない照明や、エネルギーの効率的な利用を呼び掛けていきたい。将来的には、地域の事業所・店舗やマンション・宿泊施設からさらなる協力を得て、市街中心地からでも天の川を愛でられるようなイベントにすることが夢です。

ライトダウンのプレイベントとして例年 7 月にサイエンスパブを実施しているが、今後はライトダウンの本体イベントをより盛り上げるよう、他の効果的なサブイベントも企画していきたいです。

《2019年の活動ポイント》

伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンを8月4日に実施しました。事前に西条市街域の事業所・店舗、公共施設、小学校等にポスター・チラシを送付、一部には訪問するなどして、ライトダウンコアタイム（20時半～21時）中の一時消灯・減灯を呼び掛けました。また、これに合わせて、西条小学校で「星を見る会」を開催しました（19時半～21時20分）。星を見る会では、広島大学リズムミックダンスクラブによるダンス・ステージショーの上演、光害と天文のクイズ大会、お楽しみ抽選会に続いて、ライトダウンのカウントダウン、星空案内、望遠鏡を使った土星・木星・おりひめ星等の天体観望（協力：広島天文協会、広島大学天文学研究会）を155名の参加者に楽しんでもいただきました。



体育館でのダンス・ステージショー



校庭で望遠鏡を使った天体観望

《連絡先など》

〒739-8526

広島県東広島市鏡山1丁目3-1

広島大学 宇宙科学センター

TEL 082-424-3468

FAX 082-424-0717

センターホームページ URL <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>

ライトダウンホームページ

<http://1601-031.a.hiroshima-u.ac.jp/tanabata/index.html>



《組織の概要》

本会は、環境教育プログラムであるシェアリングネイチャー活動を普及・実践する団体です。以前はネイチャーゲームと称していましたが、ネイチャーゲームは実践するアクティビティの名称で、会の目的は多くの人と自然に対する思いを共有するという意味でシェアリングネイチャーの語を用いるようになりました。日本シェアリングネイチャー協会に属する組織で、広島県内には広島県シェアリングネイチャー協会がおかれ、県内5ブロックに分かれているなかの1ブロックを担っています。全国には数千人規模のリーダー登録者がいますが、実際に定期的活動をしている者は少なく、本会の場合、実働しているのは数人です。

活動は、ネイチャーゲームというアクティビティを通じて、自然を体感し、共感する気持ちを持ち、また、自然を大切にする行動をとる人の輪を広げていくことを目的としています。



2019 春の会



2019 秋の会

《これまでの歩み》

活動は、5月と10月に広島大学総合博物館のフィールドナビとして、ネイチャーゲームを通じた自然体験を行っています。

6月のひろしま山の日では、東広島会場の龍王山で、ネイチャーゲームのプログラムを提供しています。要請があれば、小学校や幼稚園・保育園などで指導を行うこともあります(2019年は未実施)。この10数年はほぼ同じような活動を続けています。マンパワー的にこの活動を拡張するのは難しいのが実際です。

《今後の展望・キーワード》

現状小学校低学年や幼児を対象とした行事となっているが、他地域では大人を対象とした活動がよくなされている。大人向け、高齢者向けの活動も行ってみたいのです。

《2019年の活動ポイント》

2019 春の会

5月25日（土）に春の会を開きました。例によって広島大学総合博物館と共催のフィールドナビです。最初は「ジャンケン落ち葉集め」を行いました。最後に書いてもらったアンケートで、「引っ込み思案な子どもが積極的にジャンケンして回れてよかった」とあったように、打ち解けた雰囲気を作れました。次に、小学生には目かくしイモムシ、その他は親子（乳幼児）で目かくし歩きを行いました。リーダーが3人でギリギリな人数でしたが、うまくいきました。そもそもこの日、今年最高の暑さとかいうことで、日なたと木陰の差や、風の爽やかさなどを感じやすく、足元も草が生えているところや落ち葉がたまっているところなど変化があってよかったです。最後のフィールドビンゴは毎回の定番ですが、親子で楽しんでもらえます。このところ乾燥していたため、いつもはたくさんあるキノコが全然みつかりませんでした。しかし、鳥の巣らしきものや、トカゲかなにかの卵の殻が見つかるなど、毎回発見があります。最後の感想で、「子どもと自然とどう接してよいかよくわからなかったので参考になる」「日常のなかに取り入れてみたい」といった意見がありうれしかったです。参加者は、大人20人、小学生6人、乳幼児13人の計39人。リーダーは3人でした。

2019 秋の会

10月19日（土）に秋の会を開きました。広島大学総合博物館と共催のフィールドナビです。今回は、参加者が多く、66名もの参加者が集まりました。導入は「はじめまして」を行いました。小さい子が中心だったので、このあたりが無難かな。思った以上に挨拶をして話ができていました。わかちあいが雑だったかも。次に、「動物ヒントリレー」を8グループで行いました。これは盛り上がりました。ムササビとモモンガ、リスの判断がなかなかつきにくいようでした。大人と子供が話し合いながら、ゲームができてよい雰囲気でした。最後のフィールドビンゴは毎回の定番ですが、親子で楽しんでもらえます。秋の会はいつも同じ時期と場所なのですが、今年はカツラがちょうどいい具合で、「甘い匂いはこの一角にあるよ。目をつぶって鼻で甘い匂いを探してごらん」と言うと、素直にくんくんと匂いを探してくれます。子供は素直でかわいいです。最後に、紺の画用紙に穴を開けたものを配り、落ち葉を拾って穴の裏に貼ってスタンドグラスのようにしてみてね、と工作グッズをお土産にしました。参加者は、大人32人、小学生14人、乳幼児20人の計66人。リーダーは3人でした。

《連絡先など》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学総合科学研究科 浅野敏久
TEL 082-424-6362

日本シェアリングネイチャー協会のHP <https://www.naturegame.or.jp/>
入会方法 全国各地で実施するリーダー養成講座を受講すると参加できます。

《組織の概要》

各種イベント等で生き物や標本を展示する「移動博物館」を通じて、身近な自然や生き物の面白さを伝えたいと考えています。

2008年から活動を開始し、2011年から現在の名称になりました。近年は、「半尾川の生き物展示」、「昆虫展」などの展示のほか、自然観察会や講演なども行っています。また、学校・博物館等への標本資料の貸し出しにも応じています。

今後は、展示内容をさらに充実させていくとともに、活動の場も広げたいと思っています。



《これまでの歩み》

- ・ 移動博物館の開始（2008 年）
「ひがしひろしま環境フェア」
「ひとむすびの場」
- ・ 数日から2週間程度の長期の展示
- ・ 半尾川や黒瀬川、龍王山など身近な場所での自然観察会の開催

《今後の展望・キーワード》

《活動の課題》

一日限りの展示が多いため、展示内容に限界がある

《オススメしたい活動》

身近な自然をみてみよう

《広めたい活動》

東広島を自然を好きになる

《会員紹介》

基本的に代表1名で活動

《キーワード》

移動博物館・自然観察会・生物標本

《2019年の活動ポイント》

2019年9月7日（土）に「令和元年度 第3回 ひがしひろしまこどもエコ探検隊！～昆虫編～」の講師として参加しました。参加者13名で、三ツ城小学校近くの黒瀬川の土手で昆虫採集をしたのち、三ツ城コミュニティハウスで採集した昆虫の同定や解説を行いました。その後、標本や写真を使った「昆虫の色」についての話、食用昆虫の試食も行いました。短い時間でしたが、バッタやカマキリ、キリギリス類など、さまざまな昆虫を採集・観察することができ、身近な場所にもさまざまな生き物がいることが実感できたのではないかと思います。



「ひがしひろしまこどもエコ探検隊！～昆虫編～」の様子

こちらにも情報があります ↓

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/seikatsukankyo/2/ecotan/21661.html>

《連絡先など》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学総合科学部 中坪研究室内
TEL 082-424-6514

メールアドレス kuyakat@hiroshima-u.ac.jp

※ 現在のところ会員募集は行っていません。

《組織の概要》

東広島市西条地区の市街地を流れる「半尾川」の環境や近隣のにぎわい創出への関心を高め、次世代型の環境都市づくりに関する健全な提言を行うことを目的にした組織です（2016年9月設立）。

定期的な清掃活動や植栽、生物調査などを通して市民の関心や参加を高めつつ、川の歴史性や文化に着目したプログラムを開発。「市民協働のまちづくり」のシンボルゾーンとしての位置づけを図っています。

大学教員や学生、郷土史に詳しい市民、建築士グループなど多彩な会員構成が特徴です。



《これまでの歩み》

○清掃活動

川の中のゴミ拾いや土手の草刈りなどを14回実施。会員を中心に、近隣の市民や学生など延べ232人が参加しています。

○植栽

水仙と彼岸花の球根を半尾橋土手の左岸に植えました。

○酒まつりで樽募金

活動財源の確保策として、平成28年から毎年、酒まつりの2会場で樽募金を行い、約15万円の浄財が集まりました。

《今後の展望・キーワード》

「目に見える」クリーン活動を波状的に展開しつつ、ワークショップなどで多様な団体（学生グループや市職員、環境団体や住民自治協議会など）が参画することで、「忘れられようとしていた川の再生」を通した「物語」を紡ぎたいと思います。

植栽活動により、春には水仙が、秋には彼岸花が川辺に咲き誇る。いつでも市民や学生が関われるイベントが展開される。そんな話題性にあふれる空間づくりをめざしています。

《2019年の活動ポイント》



酒まつりでの樽募金



環境フェアでの活動PR



地元企業や大学生などが参加した清掃活動



半尾橋の土手に咲いた彼岸花と水仙

《連絡先など》

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6番51号（西条酒造会館内）

TEL 090-8713-2658（事務局 薦田）

URL <https://asaminno.wixsite.com/hannowogawa>

メールアドレス hanougawa@excite.co.jp

めざすもの：広島県内に、持続可能で次世代の希望があふれる（サステナブル）地域を創出する。 *Hiroshima for Sustainability*

センターが行う事業 サステナブル地域づくりに関する／資する下表の事業を行う。

2013（平成25）年4月8日設立・2017（平成29）年定款変更

調査・研究 実践	普及啓発/情報発信 交流促進	計画策定等の コンサルテーション 計画実行等の コーディネーション
市民出資等を活用した 再生可能エネルギー 普及事業	センターが行う 8つの事業	地域主体の 省エネルギー推進事業
里山学校運営等の 自然環境保全事業	フェアトレード商品 斡 旋販売等のソーシャル ビジネスの創出・運営	その他の 付帯・関連する事業

主な業務

- 東広島市市民協働センター管理運営業務（里山ウェーブ・協働支援員業務含む）
- 東広島市学園都市づくり交流会議「学生の地域活動支援業務」（まちづくり学生会議）
- 世羅町脱温暖化のまちづくりコーディネート（脱温暖化プロジェクトせら）

代表理事の主な公職など

- 東広島市環境先進都市ビジョン推進会議委員（事務局：環境対策課）
- 東広島市「地域内エコシステム」構築事業地域協議会委員（事務局：農林水産課）
- NP0 法人ひろしまアダプト理事
- エコネットひがしひろしま顧問 など

市民団体等の事務局運営等

- 西条・山と水の環境機構
- 半尾川再生まちづくり倶楽部

《2019年の活動ポイント》

□ひがしひろしま市民団体交流会

住民自治協議会や市民団体などが、それぞれのもつ課題や問題をもとに意見交流を行う場をコーディネートしました。



□ひがしひろしま学生×地域塾

学生による地域活動の企画をサポートしました。



□ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト東広島現地プログラムの実施

地域貢献に高い意識を持つ首都圏の若者と広島の中山間地域とのマッチングを図るプロジェクト。11月1～3日に、河内町、福富町、豊栄町および市民協働センターを会場として、現地プログラムを開催しました。



《連絡先など》

(一社) サステナブル地域づくりセンター・HIROSHIMA

(略称: SusCOC サスコック)

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6番51号

西条酒造会館内

TEL 090-8713-2658 (代表理事 薦田直紀)

メールアドレス sus_terrace@yahoo.co.jp



《組織の概要》

里山資源である「竹」に目を向け、不要な竹を伐採し里山の復活と土石流防止に、竹炭や竹酢液を製造販売し農薬や灯油の代わりに使用してもらうことにより地下水・河川の汚染防止や地球温暖化防止に取り組めます。更に売上金を活用して地元の子供達に竹炭作りなどのものづくりの楽しさを味わうことにより、逞しく生きていくことの出来る力を身につけて頂くことなどを目的に活動しています。



11年間で、延べ90回・1,500人

《これまでの歩み》

2006年に4人で設立し、毎年河内小学校4年生に年7～8回ものづくりを支援するとともに、3年前からは11月から3月の間は森づくりで里山の整備や竹チップ堆肥づくりなどを実施しています。若い方の参加もあります。

《今後の展望・キーワード》

《活動の課題》

・後継者不足から老体を鞭打っての活動で、いつまで継続できるやら？

《オススメしたい活動》

・子供達に竹だけでなく、木材や金属を使ってのものづくり体験指導

《広めたい活動》

・里山復活

・森林・竹林・耕作放棄地を復活させて、農園や公園づくりをしてみたいです。

《2019年の活動ポイント》

「森づくりパネルディスカッション&ワークショップ in 河内」

概要：11月10日（日）9時～12時30分、河内中学校にて、参加者約150人

内容：ドローンで河内の森を実況中継、チェーンソーを操る若い林業女子、竹パウダー堆肥で米作り日本一に輝いた農家の方など多数によるパネルディスカッションや、ドローン操縦体験、篠笛づくり・演奏、チェーンソー安全講習、竹パウダー堆肥作りのワークショップを実施しました。



《連絡先など》

大道山竹炭工房

〒739-2201 広島県東広島市河内町中河内大道

TEL 082-437-0731（マネージャー 永岡 義彦）

携帯 080-1922-0896（工房長 小田 実）

メールアドレス 2006imaodanaga@gmail.com

URL <http://daidouzan.link>

入会自由、会費なし



《組織の概要》

わたしたち JA の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業を地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。



種もみ講座

「JA 綱領」-わたしたち JA のめざすもの-
わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JA への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本にし、JA を健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び、実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。



園芸講座

《活動の課題など》

《活動の課題》

老若関わらず地域・郷土を愛し、またその育成のお手伝いをするためのさらなる運動が必要。ふれあい委員会や農業体験など各種イベントを通じた「声を聴く」活動と参加により活性化をはかります。

《オススメしたい活動》

「地産地消」実践してますか？

美味しく、健康的に、安心して。まずは気軽に産直市をのぞいてみましょう。

《広めたい活動》

心豊かな大地づくり人づくり

《今後の展望・キーワード》

地域交流の場となるスペースの支店内設置・提供。

地域特産品の紹介活動。

（小学校など子供向け。

今の子供は未来の大人…）

《2019年の活動ポイント》

○ ちゃぐりんフェスタ/米の等級判定体験

開催日：2019年8月9日（金） 参加者：管内小学生親子 10組 21名

上記日程で、東広島市福富町にて「ちゃぐりんフェスタ」を開催。お米作りの歴史や、穀物の食べ比べ、一升瓶を使用した玄米の精米体験を行いました。

昼食は JA 女性部が作った管内主力品種「恋の予感」と「コシヒカリ」を使い地産地消にこだわったおむすびとタマネギスープを振る舞いました。ボランティア団体「すいすい倶楽部」と一緒に、同町沼田川に生息する水生生物の観察と生き物を採取。自ら自然環境に触れ、その生態や生育環境を学ぶことで環境保全の重要性を体感するイベントとなりました。



○ エコキャップ運動 （JA 女性部）

開催日：2019年12月4日（水） 参加者：14名

上記日程でキャップの仕分け作業を行いました。

この運動は、ペットボトルのキャップを分別回収しリサイクルで得た収益を発展途上国の子供たちにワクチン代として寄付するものです。

リサイクル環境保全と国際的な社会貢献活動につながるものとして更なる展開を目指しています。



《連絡先など》

〒739-0015

広島県東広島市西条栄町10-35

TEL 082-422-2166（代表）

FAX 082-422-0328



《組織の概要》

近畿大学工学部化学生命工学科に所属する学生団体の名称です。

現在、1年生31人、2年生41人の計72名が主体となり、地域ボランティア、県内のイベント、学内行事、学科行事の企画・運営を行っています。



《活動の課題など》

子ども向けブースの内容がマンネリ化しているので、新しく面白いものを工夫して作っていききたいと思います。

《今後の展望・キーワード》

ボランティア活動のイベントを企画・運営したり、参加することによって、他大学、地域の方々、企業との交流が生まれ、様々な情報を得ることができ、環境についての知識や見解を広げることができました。

今後はこのネットワークを生かし、前年度に引き続き新しいことにチャレンジし、次代につながるような取り組みをしたいと考えています。また、大学での研究にもつなげていきたいです！

大学附属高等学校の生徒とともにイベントをしたいと思っています。

《2019年の活動ポイント》

6月8日（土）東広島市西条中央公園で開催された「ひがしひろしま環境フェア2019」に化学生命工学会が委員長の化学生命工学科2年の小田祐未花を中心にボランティアとして参加しました。スーパーボールすくいには子どもたちに大盛況で、大勢の方楽しんでいただきました。また、小学生対象の自由研究相談では、夏休みの工作についての個別相談を行いました。

翌日の6月9日（日）は、広島県庁前広場で「環境の日」ひろしま大会が開催され、こちらにも化学生命工学科の学生たちが多数ボランティアとしてブース、前委員長の化学生命工学科3年久保江雄大を中心に参加しました。学生たちは、UE-net（大学環境ネットワーク協議会）に加入している広島大学“えこ・ページ”、修道大学“がんぼ”とともに1年前から企画してきました。食販ブースではリユース食器を使用した飲料を販売、工作体験コーナーでは、子供達と温度計を手作りしました。また、環境活動展示コーナーでは、宮島のゴミ問題について、現状を紹介しながら、住民と観光客の関わり方や環境保全の努め方を提起しました。



10月6日に近畿大学広島キャンパスにて、子育て支援イベント『こども未来フェスタ in 高屋』を行いました。私たちの団体は東広島市と協働で会場設営等の事前準備や、開催当日は、受付、案内、誘導のほか、他のイベントの補助に入るなど、イベント全体の運営サポートを担当しました。



《連絡先など》

〒739-2116

広島県東広島市高屋うめの辺1番

TEL 082-434-7000

《組織の概要》

広島県全域を活動エリアとする生活協同組合ひろしまは、組合員が40万世帯（3世帯に1世帯加入）、資本金に相当する出資金が131億円になりました。

生活協同組合は、“平和とよりよき生活”のために事業活動と組合員活動を車の両輪とし、また、生産と消費の距離を短くするコーディネートとして活動を行っています。

主な事業活動には、宅配事業、店舗事業、福祉事業、夕食宅配事業、共済事業、文化・サービス斡旋事業などで、売上高と事業収入の総計は400億円強になります。また、事業に携わる職員は2,000名を超えます。

組合員活動としては、お互いさまを基本とし、省エネや資源の有効利用等、地球に優しい暮らしをはじめ、ユニセフ・福祉・助け合い、災害支援、平和、食の安全・食育、生産者との交流など、暮らしに関わる幅広い活動を行っています。



生協の配送車両



店舗の地産地消コーナー

《これまでの歩み》

◆1970年～2000年

- ・「琵琶湖条例」を期に脱リン化を推進。
- ・牛乳パックの回収運動が始まる。
- ・買い物袋持参を進めるスタンプ制導入。
- ・店舗でのPETボトルの回収を開始。

◆2001年～2019年

- ・ISO14001認証取得。生ゴミの堆肥化等のリサイクルシステムを構築。
- ・CO₂排出量の自主的削減計画を策定。
- ・バイオエネルギー導入東広島モデル事業で、組合員の廃油回収実証実験に参加。
- ・コープ東広島に10kW太陽光設置。
- ・水生生物調査を開始。
- ・「環境・エネルギー政策」を構築。
- ・デマンドコントローラーを設置し、ピーク電力の抑制を行う。
- ・「自然教室 IN アサヒの森」を開催。
- ・自家消費を目的とする太陽光を設置。

《今後の展望・キーワード》

～こんなことをやってみたい～

CO₂排出量の自主的削減計画に基づき、毎年1%の削減を行うために、燃費性能の高い配送車両や冷凍・冷蔵庫の入れ替えを行い、LED照明やデマンドコントローラーの全事業所設置を行い、計画を達成することができたが、施設や機器類の更新も一巡し、今後大きな削減が見込めないなかで、再度、自家消費をメインとする太陽光パネルの設置をすすめ、事業活動によるCO₂削減計画を達成する。



《2019年の活動ポイント》

1. 事業活動で排出される CO₂ を毎年 1 % 削減する。
⇒ デマンドコントロールを行うことによるピークカットを行う他に、照明器具、冷凍冷蔵庫、エアコン、配送車両を計画的に省エネ性能の高い機器に取り換えることにより、CO₂ 排出量の削減を行いました。
2. 組合員参加の省エネトライアルを実施。
⇒ 2004 年から毎年省エネトライアルを行い、家庭の省エネを進める。対象期間が 7 カ月と長く、我慢を強いる取り組みでは省エネが進まないため、省エネ機器・設備等の設置検証も行うが、パリ協定で示す 26%（家庭は約 40%）には遠く及びませんでした。
3. 組合員参加によるリサイクル推進。
⇒ 組合員参加は、飲用パック、たまごパック、発泡トレイ、透明トレイ、シッパー内袋、チラシ等紙類、ペットボトルを対象とし約 70% のリサイクル率を維持しています。
⇒ マイバック持参率は 88.5% を維持しています。
⇒ 紙や段ボール、PE・PP 等の梱包資材、食品残渣などの事業系のリサイクルは、事業全体のリサイクル率は 93% を維持、食品リサイクル法に基づくリサイクル率は 67% を維持。
4. 田んぼの水生生物調査や自然教室の実施しました。
⇒ 6 月に吉田町の田んぼで水生生物調査を行い、シマゲンゴロウなど個体の少なくなっている昆虫を見つけることができました。
⇒ 9 月下旬には、FSC 認証の「アサヒの森」で自然教室を行い、山を放置するのではなく、適度に人間の手を入れることで豊かな生態系が維持できる事を学びました。



全事業所に設置のデマンドコントローラ



店頭設置のリサイクルボックス



アサヒの森で自然教室

《連絡先など》

〒739-0495

広島県廿日市市大野浦1丁目2-10

TEL 0829-50-0409

FAX 0829-50-0352

メールアドレス hcoop@mail.hiroshima.coop

URL <https://www.hiroshima.coop>



《組織の概要》

所在地：広島市南区皆実町2丁目7-1

資本金：51億8、100万円

連結売上高：818億4、200万円

(2018年度)

従業員：661名(2019年3月末)

供給エリア：7市4町

(都市ガス・天然ガス)



広島ガス
防災センタービル(左)
広島ガス本社(右)

《これまでの歩み》

- ・1909年 広島瓦斯創立
- ＜石炭から都市ガスを製造＞
- ・1945年 原爆投下で壊滅的な被害
- ・1958年 海田工場操業開始
- ＜石炭・石油から都市ガスを製造＞
- ・1995年 廿日市工場操業開始＜天然ガス(都市ガス)を製造＞
- ・1995年～2002年
天然ガスへ燃料転換
- ・2013年 東広島市へ都市ガス供給
エリア拡大

《今後の展望・キーワード》

＜環境にやさしい天然ガスの普及拡大＞



＜高効率で快適なガス機器＞



Siセンサー
ガスコンロ



高効率ガス給湯器
(エコジョーズ)



家庭用燃料電池
(エネファーム)



ガスファンヒーター

《2019年の活動ポイント》



**東広島でも
都市ガスの供給が
はじまっています。**

広島ガスは、創立から100年以上、
地域のみなさまとともに歩んできました。
これからも、東広島のお客さまに、
よりご満足いただけるよう、
ガスの「炎」のあたたかさ、やさしさを
一緒にお届けしてまいりますので、
広島ガスをよろしくお願いいたします。

東広島にも
エリアを拡大し、

**7市4町
約40万件**

お客様にご利用
いただいております。

東広島市都市ガスご利用可能エリア

2019.5月現在



敷地の有効活用が
できた！

都市ガスに
変えてよかった！

《連絡先など》

〒734-8555

広島県広島市南区皆実町二丁目7番1号

TEL 082-252-3018

URL <https://www.hiroshima-gas.co.jp/>

《組織の概要》

研究科内の 21 世紀科学プロジェクト群、資源エネルギープロジェクトが中心となって活動を実施している。様々な資源（地下資源、水資源、生物・遺伝子資源など）の持続可能性やエネルギーの安全保障などに関わる課題について、広い視野で研究を進めることを目指しています。

代表：小野寺真一 、 教員 23 人
大学院生：4 名



シンポジウム①趣旨説明



東広島市高垣市長講演（①）

《これまでの歩み》

2006 年 4 月に研究科が設立されて以来、21 世紀科学プロジェクト群も組織され、資源エネルギープロジェクトもスタートしてきた。初期代表は福岡正人教授、その後、於保幸正教授、佐藤高晴准教授に引き継がれ、現在に至る。

主に、シンポジウムの開催（年 2 回程度）、地域交流会の開催（年 10 回程度）、研究会の開催（年 5 回程度）、現地検討会の開催（年 2 回程度）を行い、資源・エネルギーに加えて環境や地域に関する課題について議論をしています。

《今後の展望・キーワード》

2020 年に本研究科は自然科学技術研究科に統合されるため、本プロジェクトも終了となります。

ただし、個々の研究プロジェクトをベースに地域（社会）貢献とともに交流を推進していくことは、大学の重要な役割である。その意味では、類似の活動が継続されていくように、うまく橋渡しをしていきたいと思っています。

【キーワード】

エネルギー・水の安全保障
多様な資源の持続可能な利用
地域貢献・地域交流
シンポジウム、現地検討会

《2019年の活動ポイント》

【シンポジウムの開催】共催、協賛を含む

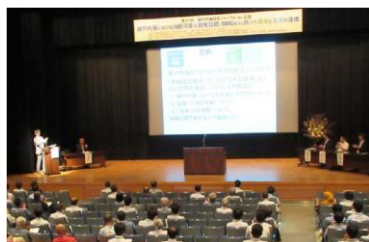
- ①3月6日「地域と環境とエネルギー」、東広島市市民文化センターアザレアホール
- ②7月18日「中山間地における森林の持続的管理・利用とは?」、広島大学総合科学部 K209
- ③7月30日「地域資源・エネルギーと環境 - SDGs に向けた取り組み -」、広島大学 学士会館 レセプションホール
- ④9月5日-6日「瀬戸内海研究フォーラム広島-里水と里海の連携」、広島市西区民文化センター
- ⑤11月29日「Workshop for Future Water Resources and Environment in Asian coastal megacities」、インドネシアジャカルタ市インドネシア科学院講堂

【現地検討会の開催】

- ⑥4月28日-29日：鳥取県水資源管理行政に関する検討会
- ⑦7月15日：尾道市干潟観察
- ⑧10月26日-27日：広島県大崎下島 非常用水源管理と地域 検討会



シンポジウム③総合討論



シンポジウム④（広島市）



シンポジウム⑤（インドネシア）



公開シンポジウム④のポスター（協賛）



現地検討会⑧-大崎下島 久比地区

《連絡先など》

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1

TEL 082-424-6496

URL <https://home.hiroshima-u.ac.jp/mtcatwg/big-hands/souka21seiki.html>

《組織の概要》

森のぬくもりを伝えたい。

このスローガンのもと、広島県を中心に、中国地方全域で活動しております。

薪ストーブや、ミニログハウスの販売・施工を通じて、自然に寄り添うライフスタイルの提案、里山整備につながる薪づくりなど、二酸化炭素の削減に貢献しています。

薪ストーブの二酸化炭素排出削減量は1台で平均3トン(年間)との研究報告がでており、調査の行われた長野県と比べると温暖な地域ですが、1トン～3トンの削減量は見込めると考えています。

魅力をより広く知って貰う為、本社にて薪ストーブショールーム兼、カフェをオープン、シーズン中は実演もあり、より身近に、気軽に楽しめる場所になっております。



《これまでの歩み》

1990年に薪ストーブの販売・施工を始め施工実績1,000件以上の経験で安心・快適に末永くお使い頂けるようアフターフォローを大切にしております。

【東広島市薪ストーブ導入実績】

2018年度 8件

2019年度 6件(2020.1現在)

《今後の展望・キーワード》

今薪火をもっと身近に。

再生可能エネルギーで、二酸化炭素の排出量ゼロの薪火、薪作りワークショップや、薪の駅、薪ステーションを作り、自伐林家からの薪の買取り、安価で安定的に供給できるシステムの構築を目指します。

《2019年の活動ポイント》

- ・「脱温暖化キャラバン in 八本松」への参加
薪ストーブの実演だけではなく、小枝や廃材などでも使えるピザ釜も実演し、食と薪火を繋げる事が出来たと思います。
- ・えこ・ページと協力し、2018年豪雨災害の被災地整備につき、伐採された丸太（40cm）を、薪ストーブユーザーなどへ無料配布しました。



《連絡先など》

有限会社 ノーム

＜東広島営業所＞

〒739-0262

広島県東広島市志和町志和東1710-1

TEL 082-433-6228

＜本社＞

〒739-0021

広島県広島市安芸区中野2丁目3番15号

TEL 082-893-3900

FAX 082-893-1285

URL <http://www.no-muhiroba.com>



《組織の概要》

商号：日鉄片倉鋼管株式会社
 創業：1936 年（昭和 11 年）3 月
 設立：1955 年（昭和 30 年）3 月
 資本金：100 百万円
 従業員数：136 名
 事業内容：冷間仕上引抜鋼管製造販売
 本社所在：兵庫県尼崎市
 販売量：

年度	販売量
2014 年 3 月期	28,600 トン
2015 年 3 月期	30,600 トン
2016 年 3 月期	26,600 トン
2017 年 3 月期	29,100 トン
2018 年 3 月期	31,000 トン

【広島工場】東広島市高屋町



周辺地域の掃除活動



緊急事態を想定した訓練を定期的の実施



《これまでの歩み》

1936 年創業以来、冷間引抜加工（冷間塑性加工）による高引張力化（加工硬化）を推進し、加工金型形状の独自開発による高度な寸法精度の実現と加工工程省略化や、最終低温熱処理による機械的性質のコントロール等により、需要家様のニーズに最適な製品を提供してまいりました。

1936 年 3 月 大阪市福島区に創業
 1955 年 3 月 (株)片倉の鋼管を設立
 1968 年 4 月 東広島市高屋町に広島工場を新設
 2004 年 8 月 広島工場 環境 ISO 14001 を取得
 2016 年 3 月 創立 80 周年
 2018 年 4 月 広島工場 設立 50 周年
 2018 年 4 月 日本製鉄株式会社（旧社名：新日鐵住金株式会社）により子会社化
 (株)片倉の鋼管から日鉄住金片倉鋼管(株)へ社名変更
 2019 年 4 月 日鉄住金片倉鋼管(株)から日鉄片倉鋼管(株)へ社名変更
 2019 年 「エコネットひがしひろしま」に加入

《今後の展望・キーワード》

【日鉄片倉鋼管 環境方針】

日鉄片倉鋼管株式会社および関係会社は、事業活動を行うに際し、環境保全の重要性を認識し、企業の社会的責務を果たすためにこの環境方針を定める。

【基本方針】

1. 長期的かつ地球規模の視点に立って、事業活動が環境保全および経済社会の発展と調和するよう努め、「地球規模の環境保全」と「循環型社会の構築」に貢献する。

【環境保全推進体制】

2. 基本方針に則り、全社員が一致協力し、会社全体として、環境、省エネルギー、資源リサイクル等の総合的視点から環境保全対策を推進する。自主的かつ継続的な環境保全活動を推進・徹底するため、本環境マネジメントシステムを確立し、毎年環境目的・目標を設定し、見直しを行う。

【事業活動における環境保全】

3. 設備の新設および種々の生産活動に際して、国および地方自治体等の汚染の予防および環境に関する法・条例等の規制を順守する。

【地球温暖化防止、省資源・リサイクル】

4. 地球温暖化防止対策として省エネルギー活動を積極的に展開する。また 3S・3R 活動等により省資源に貢献する。

【製品による社会貢献】

5. 高張力鋼による軽量化、新技術による長寿命化等利用段階における省エネルギーに役立つ製品の開発を推進する。

《2019年の活動ポイント》

- ・ 環境全員教育を 2019 年 6 月 3 日に実施しました。
近年の環境問題および緊急事態の対応、日頃の記録・監視測定的重要性について講和（毎年 環境月間（6 月）に 環境全員教育を実施）



- ・ 広島工場を取り巻く周辺地域の環境（住宅地・河川・工場など）を把握し、当工場から近隣へ及ぼす環境影響（騒音・振動・大気・水質・土壌など）について説明しました。
- ・ 緊急事態に備え、緊急事態作業手順を基に緊急時を想定した訓練実施の重要性を説明しました。
- ・ 操業における日頃の監視測定的重要性（記録・監視が目的ではなく日々の測定や監視において 通常とは異なる変化や異常に気が付くことの重要性）を説明しました。
- ・ 安全作業や品質不具合の削減や生産性の向上は、生産効率向上やロスの低減はエネルギーの消費削減に繋がり、これらはコスト面だけではなく環境活動へも繋がることを説明しました。

《連絡先など》

〒739-2124

広島県東広島市高屋町郷685-8

TEL 082-434-1280

FAX 082-434-1284

広島工場 担当者 総務課 川元

URL <http://www.nskt.nipponsteel.com/index.html>



《組織の概要》

森林の所有者が出資し、1968 年 3 月 25 日に発足しました。組合員は 9,382 名（2019 年 12 月現在）、東広島市（黒瀬町・安芸津町を除く）および三原市大和町を管轄エリアとして活動しています。

森づくり（伐採・植樹・育成管理）や危険木の伐採を主業としていますが、近年では里山活用のための講習会や木育活動、市民から持ち込まれた伐木を買い取る「木の駅プロジェクト」にも取り組んでいます。



賀茂地方森林組合事務所



「木育」の一環として木のおもちゃを開発

《これまでの歩み》

2005 年に機関誌「森からのたより」を発行。以後、年 1 回ペースで発行しています。

2013 年から現在に至るまで、八本松町吉川地区で「セブンの森づくり」事業で技術指導などを行っています。

2016 年には「里山ガイド」を作成し、好評につき 2018 年 3 月に第 2 版を発行。

2017 年 3 月に「賀茂バイオマスセンター」を設立し、同 12 月には「木の駅プロジェクト」を立ち上げました。

《今後の展望・キーワード》

近年は市民向けの情報発信や人材育成にも力を入れています。

今後は「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した活動や市民向けの情報発信を増やしていきたいです。



「里山ガイド」と「森からのたより」

《2019年の活動ポイント》

6月3日に行われた「第18回ひろしま山の日県民の集い」東広島会場ではブースを出展し、丸太切り競争を行い、多くの市民が参加しました。また、同会場で行われた「山のグラウンドワーク」では山林整備の技術指導を行いました。



賀茂バイオマスセンターの「木の駅プロジェクト」では、市民が持ち込んだ伐木、約70トンを受け入れました。



12月19日に設立合意した「東広島スマートエネルギー株式会社」の出資者となりました。東広島市内の再生可能エネルギーの買取りや環境に配慮した設備の導入を主な事業としていく予定です。



「東広島市ホームページ」より

《連絡先など》

〒739-2106

広島県東広島市高屋町稲木2010-5

TEL 082-434-1188



《組織の概要》

広島大学総合博物館は、キャンパスをまるごと展示するエコ・ミュージアムです。キャンパスには、化石やはく製を常設展示する博物館本館のほか、キャンパスから出土した土器や石器などの埋蔵文化財や学部の特色ある研究を紹介する「サテライト館」、さらにキャンパスを探索し、様々な動植物と出会える自然散策道「発見の小径」があります。



《これまでの歩み》

開館（2006年）以来、キャンパスの豊かな自然を利用したフィールドナビ（野外観察会）を76回（2019年12月時点）開催してきました。

様々な自然を使ったネイチャーゲームや植物や生き物の観察会を行い、園児から大人までたくさんの方々に参加していただいています。

また、博物館本館では、幼稚園、小・中・高・大学生、一般、外国人、障がい者など年間約200件の団体利用があります。スタッフは積極的に展示解説を行っており、好評をいただいています。

《今後の展望・キーワード》

「ここにはあなたの知らない世界があります。知のオアシス博物館へ」

総合博物館本館では、惑星の成り立ちや国内外の多様な化石、キャンパスや東広島市周辺の里山・里海の生き物などについて、実物標本を中心とした展示物をご覧いただけます。

キャンパス内の「発見の小径」には、全国的にも希少な多種多様な動植物が生息しています。

ここに来ればあなたも「何かを発見！」する喜びを体験できるかもしれません！

《2019年の活動ポイント》

2種類のフィールドナビ（野外観察会）を開催しました。

1つ目は、「歩こう！！学ぼう！！キャンパスの桜と水」です。東広島キャンパスで見られる桜を中心に植物の楽しみかた、見分けるときのポイントを学びつつ、キャンパス内の水の流れを追いました。

2つ目は、春・秋2度のネイチャーゲームです。ビンゴゲームをはじめ、簡単なゲームをしながら、参加者に五感を使ってキャンパス内の自然に触れ、その体験を分かち合っていました。

3つ目は、ドングリの観察です。キャンパス内を散策しながらドングリの見分け方や特徴を学びました。

どの観察会も、広島大学の自然豊かなキャンパスという強みを活かして、身近な自然環境について学び、感じることを目的としています。

また、2019年は151団体（授業含む）に博物館をご利用いただきました。



《連絡先など》

〒739-8524

広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL 082-424-4212

URL <https://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/>

